

平成 30 年 2 月 12 日

平成 29 年度 大阪府立三島高等学校 第 3 回 学校協議会 議事録

1 実施日 平成 30 年 2 月 9 日(金) 14:30～16:30

2 出席者

(1) 協議会委員

関西大学教授（協議会委員長）  
週刊教育 Pro 主幹（協議会副長）  
三島高等学校 PTA 会長  
川西地区青少年健全育成協議会長  
高槻市立第二中学校長  
高槻市立郡家小学校長

(2) 学校職員

校長、教頭  
首席・教務部長、主席・生徒指導部長、  
総務部長、進路指導部長、保険部長、研修育成・図書部長、事務長

3 議題

- (1) 平成 29 年度の学校経営計画及び学校評価について
- (2) 平成 30 年度の学校経営計画について
- (3) 平成 29 年度の学校教育自己診断について
- (4) 校則

4 委員からの指摘提言

(1) 平成 29 年度の学校経営計画及び学校評価について

- ・海外からの受け入れ生徒が身近にいることはグローバル化への刺激や海外に目を向けるきっかけになるので継続してもらいたい。また英語でコミュニケーションをとる機会も増やしてもらいたい。
- ・生徒へのアンケートの設問を、現状の教育に合わせて何ができるようになったかを問うことにより学校教育の中身を見直したほうが良いのではないか。
- ・防災教育は学校が教えられることもあるが、直接行動を起こす中で地域を支えることが重要である。
- ・学校に行くのが楽しい、親しい友人がいるという生徒が多いのは素晴らしい。

- ・友人作りは大学でも重要である。高校で友人作りや人との付き合いの素養を作ってもらいたい。生活習慣の指導も引き続き大事に行ってもらいたい。

(2) 平成 30 年度の学校経営計画について

- ・クラブ顧問が外部講師だと学習とのバランスが保てない。
- ・挨拶運動は良いことであるが、すべての活動に必要性や意義を考えさせることが大切である。
- ・高槻の中学は以前から朝の学習に取り組んでいて、特に読書は 1 限目の授業のスムーズなスタートに効果的であり、読書量が増える。

(3) 学校教育自己診断について

- ・ホームページのアクセスログを解析すると、アクセスしている時期や場所を把握することができる。これにより閲覧する対象者に向けた情報を発信することができる。
- ・大学では、パワハラやアカハラ等の外部窓口を設けて相談しやすい体制を整えている。気軽に相談できるようにするには、そのような窓口を設けてはどうか。
- ・生徒と教員のアンケート結果の差異が大きいことについては、実態を掴むような努力や体制づくりを要望する。